

卒業生が母校で職業講話

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、6月13日（火）、県立裾野高等学校（裾野市）において実施された就職希望者対象の講演会に参加した。

当日は自衛隊のほか一般企業2社から講師が招かれ、同校2・3年生の就職希望者約180人を対象に、社会人として働くことについて各30分程の講話を行った。

自衛隊については、まず三島募集案内所長・室岡2等陸尉が自衛隊の役割や仕事内容について説明を行い、その後、同校の卒業生で現在は駒門駐屯地（御殿場市）第1戦車大隊で勤務している勝又鴻基陸士長が、自衛官としての経験談を語った。

勝又士長は、自らが自衛官を目指した理由から採用試験への取り組み、入隊までの心構え等を自らの経験談を踏まえながら説明し、後輩達へ自衛官という職業の魅力を存分に伝えた。

参加者からは「自衛隊の仕組みがよくわかった」「同じ学校を卒業した先輩から直接話を聞き、自衛隊を身近に感じられた」等の感想が聞かれた。

静岡地本は、今後も各学校との連携を強化してこのような学生に直接説明出来る機会を積極的に活用し、熱意ある志願者の更なる獲得に努めていく。



大原専門学校の「官公庁説明会」に参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、6月13日（火）、大原公務員医療観光専門学校沼津校（沼津市）において、同校の1、2年生を対象とした「官公庁説明会」を実施した。

この説明会は、講義を通じて防衛省・自衛隊への理解を深め、今後の進路選択の参考にする目的で同校からの依頼に基づき実施し、授業の一環として公務員科の1・2年制コースを専攻する学生41人に対して90分の講義を行った。

説明では、自衛官の業務内容や防衛医科大学校・一般曹候補生等の試験種目、今後の試験日程や広報行事の紹介のほか、特別職国家公務員としての地位や将来像、昨今の世界情勢と自衛隊の行動等、幅広い分野についてわかりやすく説明を行い、今後職業選択の一つとして自衛隊を考慮してもらえるようPRした。

参加者の中にはすでに自衛官を志願している学生が多かったが、それ以外の学生からも「現役の自衛官から幅広い自衛隊の活躍について話を聞くことができ、関心が高まった」という率直な感想が聞かれた。

静岡地本は、今後も各学校と連携して学生の進路選択の参考となる説明会を積極的に実施し、若者の自衛隊への理解を更に深め、自衛官志望者を多く輩出出来るよう真摯な業務に努めていく。

